

平成 29 年度冬期地区交流会報告

今年も、「焼肉ビジネスフェア」の開催に併せて、2018 年 1 月 23 日（火）に東北・関東・甲信越地区交流会を皮切りに、全国 5 箇所で開催されました。

東北・関東・甲信越地区交流会は例年通り、焼肉ビジネスフェア開催前日ということもあり、多くの正会員と賛助会員の参加がありました。

全交流会の参加者は、正会員延べ 149 名、賛助会員延べ 383 名、スタッフその他も含めて、合計 540 名となりました。

各地区を代表する理事や総代による開会宣言で交流会をスタートし、協会会長でなべしまホールディングス株式会社の山口会長より、今期の業界の動向や協会活動の報告などを交えて挨拶がありました。

懇親会開催店主挨拶の後、且専務理事より JY 情勢報告として、JF（一般社団法人日本フードサービス協会）の会員売上動向、国産牛肉の価格推移や輸出状況並びに TPP 関連の牛肉の輸入関税率の低減見通し等の説明がありました。

次に、今年度実施しました第二回「焼肉協会の検定試験」の結果及び第三回の開催に向けて担当の田中理事より報告と案内がありました。

次に、来期に行われる「焼肉料理コンテスト 2018」の説明を事業活動広報委員会及び、業務委託先の株式会社アドカンパニー妻沼社長より行いました。総額 120 万円の賞金を用意し、広く一般の方にも参加していただけるよう、焼肉協会の知名度の向上と焼肉料理の進化を目的に開催する事となりました。

最後に、新たな共同仕入商品として、江崎グリコ株式会社より『BREO SUPER グレープミント』の説明が行われ、焼肉店での食後のサービス商品の定番であったガム、キャンディーに続いて、タブレットという新しい商品が提案されました。色々な課題解決にも対応している説明も頂きました。

恒例の賛助会員による、PR タイムにつきましても、業種により、正会員へのアピールポイントが異なり、創意工夫をされた、ユニークな PR もあり、次回にも期待させるものばかりでした。

新規参加の正会員の挨拶や、名誉会長による講演など、各地区でのアレンジもあり参加された会員には有意義な会になった事と思います。

皆様、今年度の地区交流会にご参加頂きまして誠にありがとうございました。